

第九十七卷 第一号 目次

玉井清教授退職記念号

序

投票選択肢としてのクライエントリズム

— 経済投票の枠組との関連への含意  
— を重視したレビュー —

後藤新平と福沢諭吉

— 伝染病研究所移転問題をめぐって —

高度経済成長期の自民党政務調査会

— 社会部会とその周辺 —

参議院自民党の人事と首相権力

日本の反撃能力保有に至る政治過程に

関する考察、一九九九—二〇二二年

「日本初の女性議員三九名」はどこへ

行ったのか  
— 大量当選、大量落選の構造分析 —

明治期日本の選挙運営

— 第一回衆議院議員選挙を例として —

後藤新平と台湾総督府顧問制度

「官吏公選」に関する一考察

尾崎行雄の尚武論

屯田兵の設置と開拓使

一九一〇年代慶應・ハーバード大学間

の教員招待過程

— R・J・レイを中心に —

「大久保政権」下の黒田清隆

— 明治六・七年の外交と内政 —

大日本私立衛生会とその「支会」

征韓論争と台湾出兵

— 明治六年の政変から出兵の決定に  
— 至る経緯について —

華北分離工作期における日滿華提携論

の一考察

— 永井柳太郎を中心に —

ジャワにおける陸軍中野学校出身者の

情報・工作活動とその影の局面

— 柳川宗成大尉の遺稿から —

「排日移民法」をめぐる在郷軍人とア

メリカニズム

— 在郷軍人会の反応とグローバルな  
— 思想の交差がもたらした齟齬 —

知的財産権の「開国」を巡る日本と欧

米諸国

— 日独通商航海条約から日本のバリ、  
— ベルヌ両条約加盟まで —

第一次世界大戦と「独探」

— 『東京朝日新聞』による粗描 —

インターネット上の政治的活動の意義

についての民主党議員の認識

玉井清教授略歴・主要業績

久保田 哲

小島 和 貴

後 藤 新

坂 本 健 蔵

澤 田 次 郎

玉 木 寛 輝

鶴 岡 聡 史

諸 橋 英 一

吉 田 龍 太 郎

姜 兌 琬

堤 林 劍

出 岡 直 也

小 川 原 正 道

奥 健 太 郎

松 浦 淳 介

宮 岡 勲

清 水 唯 一 朗

末 木 孝 典

王 麒 銘

柏 原 宏 紀

加 地 直 紀

門 松 秀 樹

姜 兌 琬